

# JAXAの取組み

—新「宇宙基本計画」と取り巻く環境変化を踏まえて—

宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

理事 山浦 雄一

# 1. 政策とJAXAの役割

## 基本政策における宇宙の重要性の増大

- 新「宇宙基本計画」
- 科学技術イノベーション総合戦略2014
- 国家安全保障戦略
- 新成長戦略

国立研究開発  
法人への移行

## 「我が国全体としての研究開発成果の最大化」

- 国際競争力の強化
- 科学技術イノベーション創出
- 諸政策課題の解決

## 「政府全体の宇宙開発利用を技術で支える中核的实施機関」

社会への  
価値提供



技術の  
発展・先導

## 2. 基本的な視点

- 宇宙開発と宇宙利用の多様性
- 国家・社会インフラとしての宇宙システム
- 社会への価値提供: 地上と宇宙のモノ・情報・人を統合
- 技術の連結・相乗効果: 地上、宇宙、デュアル・ユース
- 産業: 国際競争力を伸ばす視点、自立能力を確保する視点
- 国際関係: 日本・日本人の「在りよう」、リーダシップ確保、国際間の競争と協調(=宇宙活動の両輪)の使い分け
- 役割: 政府、JAXA、企業(製造、サービス)、大学、団体、etc.
- 持続性: 専門の組織と人材の強化・育成、制度の整備

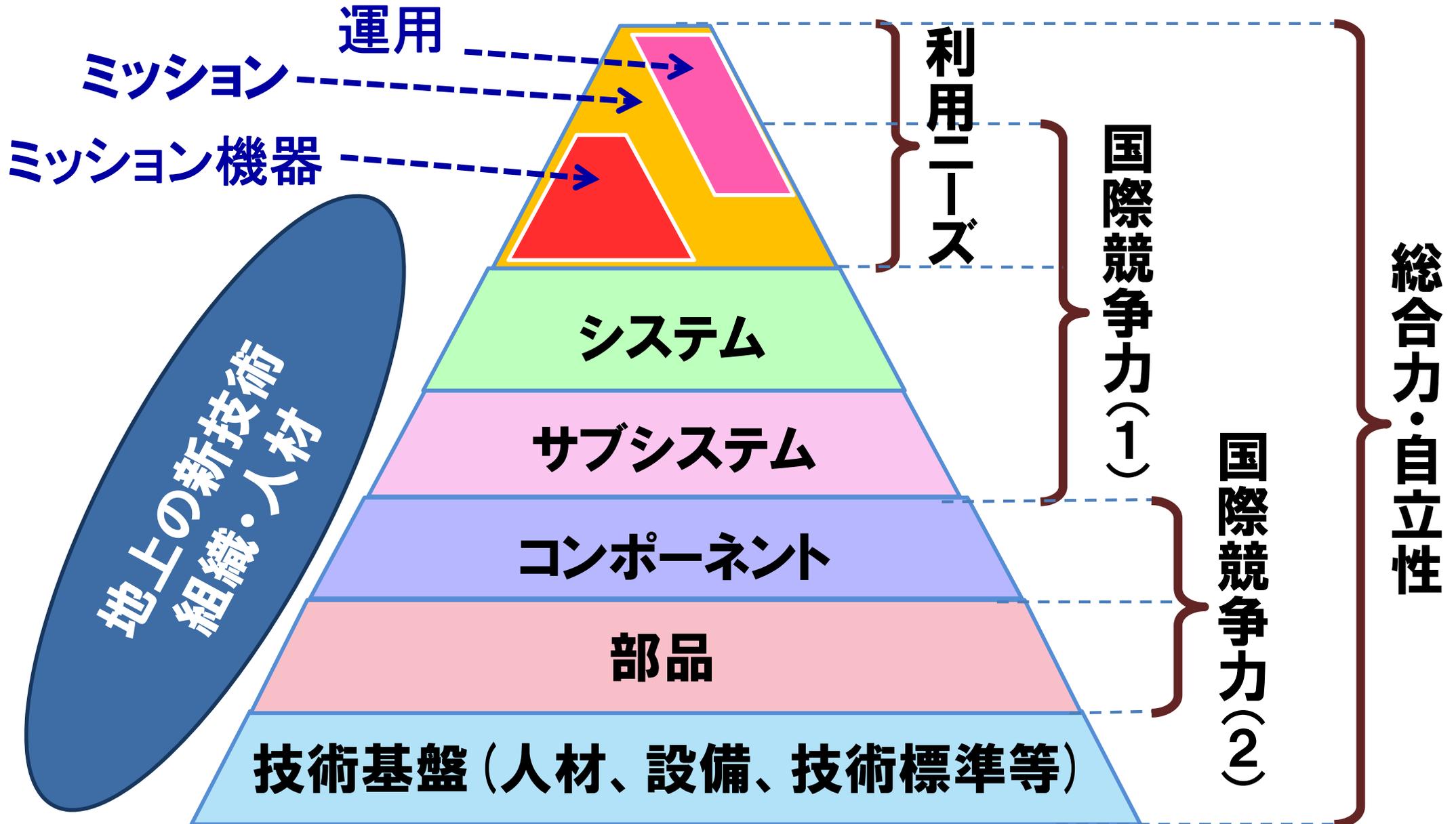
### 3. 国際競争力確保と産業規模拡大

- ◆ 世界の「先」と「先々」を見据えた「勝つ」技術目標の設定
- ◆ 「新たな&国際ビジネス」発想の喚起、国際人材の育成
- ◆ 日本の優れた地上技術/組織・人材の活用/協働



# 宇宙開発・利用の能力の確保・発展

多様な企業・研究機関・大学とJAXAが協働：地上の新技术を活用



## ◆ 衛星の開発期間短縮・コスト低減、ミッション能力の向上

- 方法：衛星バスの革新（機器の小型・軽量化、省電力化、高性能化）
  - ✓ 対象：推進系・電力系・通信系・姿勢制御系等のサブシステム・コンポーネント・部品、地上試験技術、等
- 効果：利用ミッション機器の機能・能力の向上、寿命の伸長

## ◆ 宇宙実証による実績蓄積、国際市場へのアピール

- 宇宙実証機会の確保
  - ✓ JAXA衛星、「きぼう」船外プラットフォーム、国際協力衛星、実用衛星、商用衛星、等
  - ✓ 超小型衛星 既存：H-IIAロケット相乗り、「きぼう」放出  
新規：イプシロンロケット相乗り
  - ✓ HTV活用(ISSからの離脱後)：(例)JAXAのデブリ除去ミッション
- 「革新的衛星技術実証プログラム」開始(平成27年度～)